

| 教材教具名 | ゴム引っ掛け | 分類 | ステージ I | 操作 |
|-------|---|-----|---------------|----|
| | | 授業名 | 個別課題 (小学部) | |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴムに指をかけ引っ張ることができるようにする。 ・両手で引っ張り、棒にかけること手指の巧緻性や引っ張る動きを養う。 | | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・教材を提示し、ゴムに指をかけるように促します。
- ・引っ張る動きを自分からできるように、はじめは教員と一緒に練習し、徐々に介助を減らします。

<材料>

- ・色ゴム、板、割りばし、フック

<工夫点>

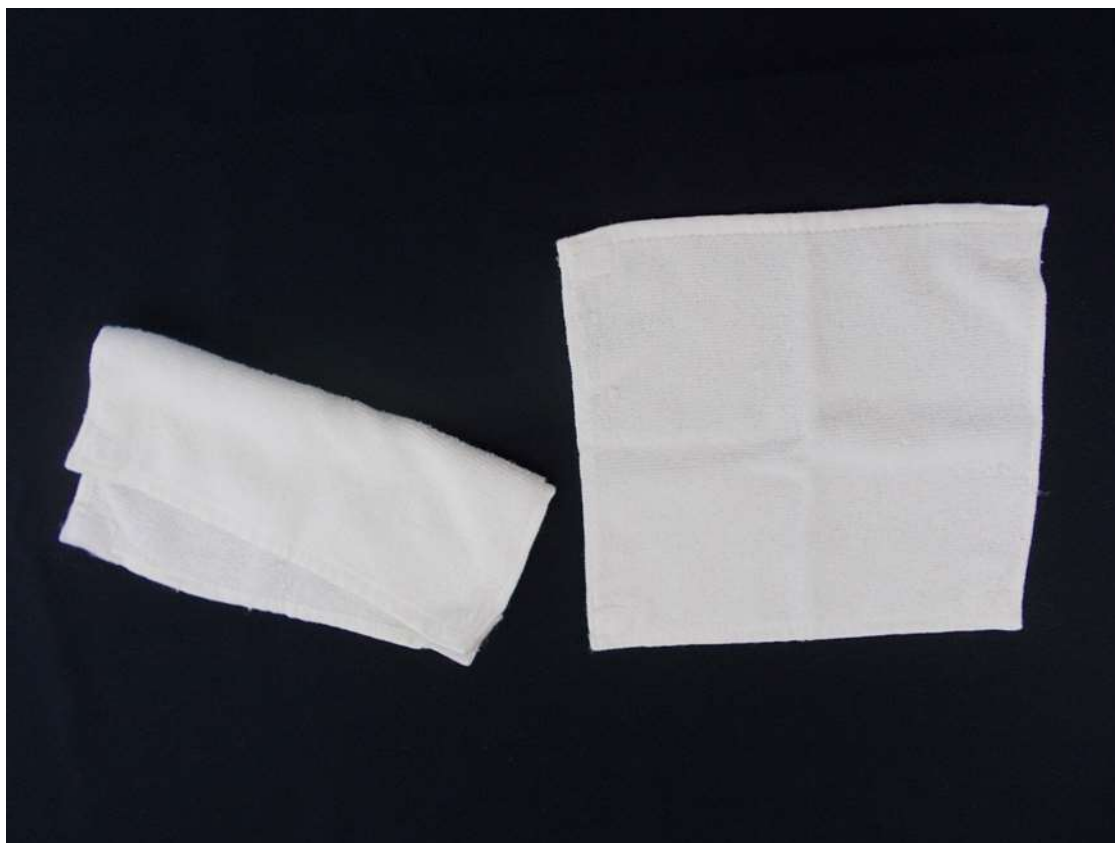
- ・ゴムを色別にして色のマッチングの学習にもなります。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・指先を使ったり、手を手前に引く動きを練習するのに分かりやすいと思います。

| | | | | |
|-------|---|-----|--------------------|----|
| 教材教具名 | ハンカチたたみ | 分類 | ステージ I | 操作 |
| | | 授業名 | 個別課題／自立活動 (小学部) | |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・角を合わせてハンカチをたたむことができる。 ・手元を見て操作することができる。 | | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ハンカチを広げて渡し、たたむ活動を行います。
- ・ハンカチの角が合い、磁石が「カチッ」とつくように指導します。

<材料>

- ・ハンカチ、フェルト、強力磁石

<工夫点>

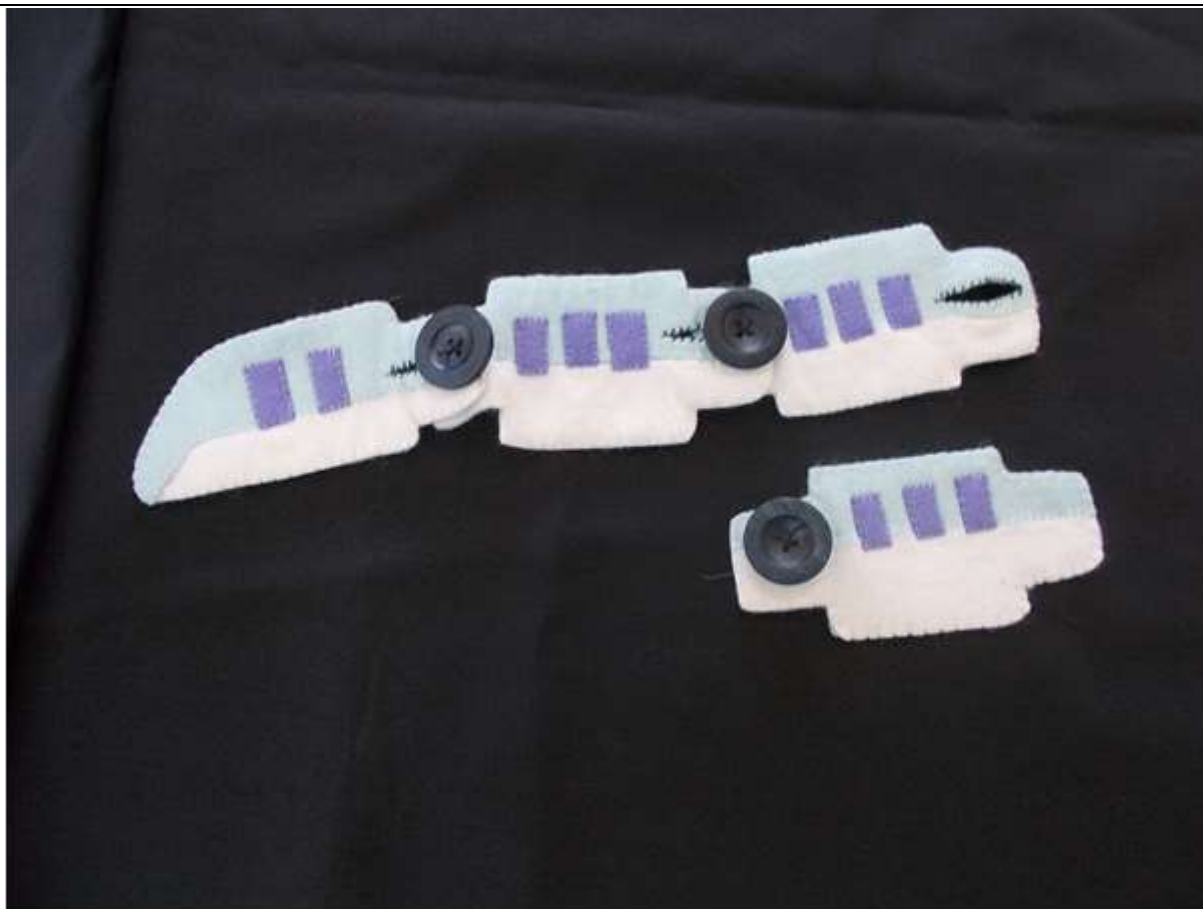
- ・角が合うと「カチッ」と磁石がつき、正解がすぐにフィードバックされるようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・手元を見ないで操作をしてしまう子どもが、角を意識してたたむことができるようになりました。
- ・磁石のないハンカチでも、角を合わせようと意識してたたむようになりました。

| 教材教具名 | ボタン教材 | 分類 | ステージ I | 操作 |
|-------|--|-----|---------------|----|
| | | 授業名 | 個別課題 (小学部) | |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・ボタンホールにボタンを入れることができる。 ・一人でボタンをつけることができる。 | | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・初めはボタンホールからボタンを半分出した状態からボタンをつけます。
- ・徐々にボタンホールから出すボタンの面積を減らします。
- ・できるようになったら一人でボタンをボタンホールに入れ、ボタンをつけます。

<材料>

- ・フェルト ・ボタン

<工夫点>

- ・対象児の好きな新幹線の形で教材を作りました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・最初はボタンホールからボタンを半分出しても難しかったのですが、回数を重ねるうちに自分で頑張ってボタンホールに入れようとする姿が見られました。

| 教材教具名 | トングの課題 | 分類 | ステージⅡ | 操作 |
|-------|--------------------|-----|---------------|----|
| | | 授業名 | 個別課題 (小学部) | |
| ねらい | ・手指の操作性を高めることを目指す。 | | | |

教材教具の概要



<使用方法>

- ・「お腹がすいて泣いているイヌさんに食べさせてあげよう」と伝えてから、トングを渡し、課題を始めます。
- ・全部できたことを確認したら、「お腹がいっぱいになってイヌさんもうれしそうだね」と、泣いている目を取り外し、笑顔になったイヌさんを見せて終わりです。

<材料>

- ・タッパー、食べ物消しゴム、マジックテープ、ラミネートしたカード

<工夫点>

- ・泣いている目を取り外しできるようにしました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・「イヌさんがお腹がすいて泣いているから助けてあげよう」というストーリーのある設定にすることで、学習意欲の向上につながりました。

| 教材教具名 | 箸の操作 | 分類 | ステージⅡ | 操作 |
|-------|---|-----|-----------------|----|
| | | 授業名 | 個別課題学習 (小学部) | |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・箸を正しく持ち、つまむことができる。 ・つまんだものと同じ色のケースに入れることができる。 | | | |

教材教具の概要



<使用方法>

・箸でビーズやフェルトのボールをつまんでケースに貼ってある同じ色のシールの場所に入れます。

<材料>

・箸、ビーズ、フェルトのボール、製氷皿、シール

<工夫点>

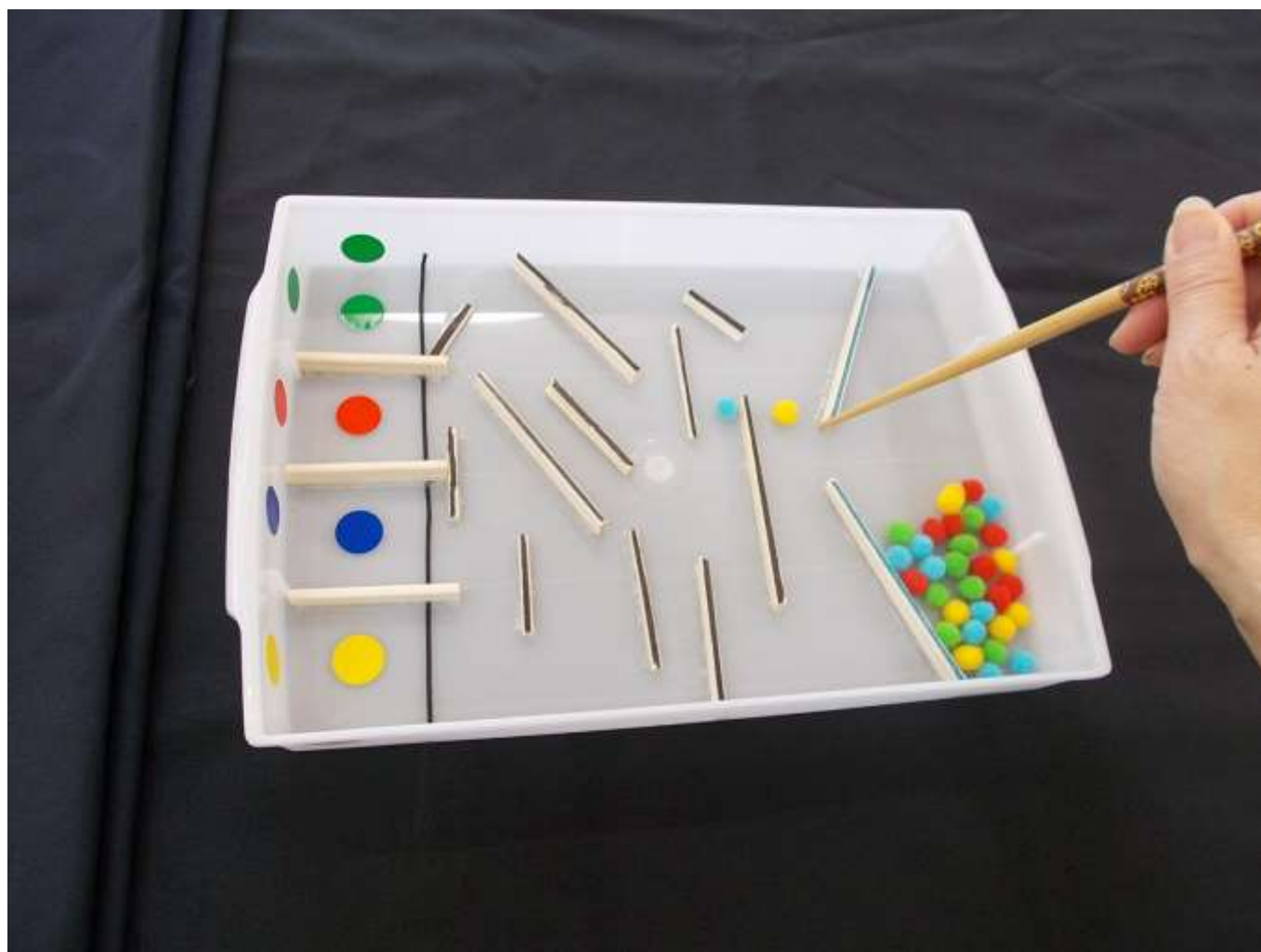
・フェルトやビーズの色と製氷皿に貼ってあるシールの色をそろえました。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・給食の際に食べ方が上手になりました。
- ・細かい食材も箸でつまめるようになりました。

| | | | | |
|-------|---|-----|----------------|----|
| 教材教具名 | 箸ゴルフ | 分類 | ステージⅡ | 操作 |
| | | 授業名 | 国語・数学 (中学部) | |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・箸の持ち方の感覚をつかむ。 ・ルートを選んで運ぶ。 | | | |

教材教具の概要



<使用方法>

・箸を一本使いスタート位置から色ごとに振り分けられたゴールにフェルトボールを運ぶ。

<材料>

・A4 紙、引き出し、割りばし、はし、フェルトボール

<工夫点>

・コースを割りばしで自由に変えられるので、使用者が色々な方向に箸を動かす体験ができる。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・生徒が意欲的に一人で取り組めた。
- ・親指、人差し指、中指で箸を支えるのが上達した。